

平戸オランダ商館めぐり・最終案内報

平戸巡り参加者は46名になりました。バスを急きょ49人乗りのバスに変えました。大旅行団です。楽しくやりましょう。

日程

9月9日(日)

7時30分、イオン東側駐車場(井出ちゃんぼん東100メートル)集合
車はこの駐車場においておけます。

7時45分 出発 → 7時50分 大和IC > 8時05分 多久IC >

8時20分 若木/道の駅停車。大楠公園内川古の大楠の場所で物産館あり。
(緒方、副島、川崎さんらがここで乗ります)

8時40分 伊万里、9時15分 松浦/道の駅 > 9時30分 同発

10時15分 松浦史料博物館 0950-22-2236

学芸員の久家孝史さんが説明してくれます。

11時15分 平戸オランダ商館 0950-26-0636

12時00分から食事、旗松亭(鯛茶漬け定食 0950-22-2827)

13時00分 最教寺~ザビエル教会 > 13時40分発

14時10分 生月島島の館(鯨博物館) 0950-53-3000 ~ 14時50分

学芸員の中園成生さんが説明してくれます。

中園成生さんは、安永浩氏と共著の『鯨取り絵物語』を書いています。

15時25分 平戸大橋 > 15時55分 松浦道の駅 > 16時10分発 >

17時05分 若木/道の駅 3人下車

17時30分 多久IC ~ 17時45分 大和IC ~

17時50分 佐賀大和着 東島旅行社 0952-26-9869

費用

○参加費は3000円+1500円=4500円を当日朝集めます。できるだけ釣り銭のないようにお願いします。

平戸オランダ商館(荻原博文著などより)

オランダ東インド会社の設立 オランダの貿易会社

が連合して1602年、オランダ東インド会社を設立した。世界で最初の株式会社である。正式には連合東インド会社(オランダ語で: Vereenighde Oostindische Compagne)といい、その略称VOCのマーク付きの商品が世界に流通することになった。

東インド会社は、貿易だけでなく条約締結、軍隊交戦権なども政府より認められており、最盛期の1669年



には軍艦 40 隻、商船 150 隻所有したといわれる。1603 年には ジャワ島西部バンテンに商館開設、パタニ王国に商館を開設し、1608 年にはアユタヤは、オランダ本国に外交使節を派遣するなど、東南アジアとの交渉を深めつつあった。

日本とオランダの交流 東インド会社の設立の少しまえ、1598 年に、オランダのロッテルダムを出発した 5 隻の商船の一隻、リーフデ号が 1600 年に、豊後、現在の大分県に漂着した。船長らのほかに、水先案内人にイギリス人ウィリアム・アダムズ（日本名三浦按針）や、乗り組み員ヤン・ヨーステンがいた。アダムズとヨーステンは、天下をとったばかりの徳川家康に大坂城へ呼ばれ、その外交顧問となった。

アダムズは、家康の命令で、伊豆でヨーロッパ式の帆船をつくり、その船はマニラから太平洋を渡り、メキシコまで到達しているほど造船技術も高く、信頼された。アダムズは、家康からオランダとの貿易開始の仲介の命をうけて、平戸へやってきた。

平戸オランダ商館の設立と破壊

1609 年、二隻のオランダ船が平戸に入港した。領主松浦鎮信は、彼らを大いに歓迎し、平戸に商館建設をすすめた。オランダ人の一行は、駿府にいた家康のもとにむかい、貿易の許可を得た。オランダ人らは平戸に帰り、ここに商館を設立することを決め、初代商館長にジャック・スペックスを任命した。



平戸オランダ商館の図、モンタヌス『東インド会社遣日使節録』

1611 年（慶長 11）から、平戸オランダ商館の本格的な建設が始まった。平戸城下町の一部 22 戸を取り壊し、商館施設が建設されはじめた。工事は毎年のように続けられ、1618 年（元和 4）にほぼ完成した。商館施設は住居や倉庫のみでなく、製材所や帆船のロープの製作所、牧場など大規模なものであった。1637 年（寛永 14）に石造倉庫を建設した。これは長さ約 31 ㍎、幅約 12 ㍎の大規模な洋風建築であった。しかし、幕府は鎖国政策をとり、オランダ人を長崎の出島に移すことにより、完成後 2 年余りで平戸商館は破壊された。

編集後記

いよいよ、平戸巡りが近づいてまいりました。平戸の薄香港を舞台にした高倉健主演の「あなたへ」も上映されました。いろいろ楽しい旅になるでしょう。なお、会員の皆さんへ 12 月 16 日が総会です。（青木）